

事業番号	02 02 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	情報システム推進事業費	部局	企画振興部	課・室	デジタルインフラ整備室
		実施期間	S44～	E-mail	infosys@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	3-7 先端技術の積極的な活用・導入				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	○行政事務の電子化が進む一方、情報システムやネットワークに対する不正アクセスや標的型攻撃といった手段の巧妙化など、情報資産に対するリスクが年々高まっている。こうした中、情報漏えい、システム障害などの問題は行政への信頼を揺るがしかねないため、ハード、ソフト両面での情報セキュリティ対策を実施。また、マイナンバーを利用したオンラインの情報連携運用が平成29年7月から開始されたことに伴い、マイナンバー系、インターネット系及び行政情報系の各ネットワークの分離や自治体情報セキュリティクラウドの構築など、情報セキュリティ強化対策を実施。 ○ICTを活用して“しごと改革”を推進するため、平成26年度から「スマート県庁推進事業」を実施。令和2年度からは既存業務の抜本的見直しと一体となったデジタルインフラの整備、市町村との共同調達を盛り込んだ「スマート自治体推進事業」を実施。
	【目指す姿】
	○県が保有する情報資産を様々な脅威から守り、適切に維持管理するため、職員の情報セキュリティに対する意識を一層高めるとともに、高度で信頼できる情報セキュリティ環境を実現する。また、標的型攻撃等の新たな脅威に対する職員の対応力の向上を図る。 ○業務の効率化によって職員の学び続ける（研修拡充、自己啓発）時間を創出し、高度な専門性を備えた人材の育成につなげる。
	【実施内容】
	情報セキュリティ研修、自治体情報セキュリティクラウド運用、スマート自治体推進事業 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度									
															前年度繰越	0	0									
															予算額	現計予算	217,998	530,334								
															合計(A)	217,998	530,334									
															うち一般財源	215,988	341,643									
															決算額(B)	207,250	528,402									
															職員数(人)	5.120	5.560									
															1	情報セキュリティ事故件数	14	0	↑	2	↓	0	未達成			
															2	情報セキュリティ研修(e-ラーニング)受講率	98.9%	98.7%	↓	94.3%	↓	99.0%	未達成			
															3	RPA適用業務数	3	30	↑	40	↑	60業務	未達成			
														4												

成果指標設定理由	①情報セキュリティ対策の実施に関連する指標を設定 ②情報セキュリティ対策の実施に関連する指標を設定 ③スマート自治体の取組実績を示す指標を設定
----------	---

達成状況の分析	①目標を達成することはできなかったものの、低い値で推移している。 ②新型コロナウイルス感染症対応により、受講率が低下したため。 ③職員研修、専門業者によるサポート及びRPA管理用ソフトウェアの導入により適用業務の拡大を図ったが、目標を達成することはできなかった。
---------	---

主な取組	①電子計算機室の適切な維持管理 県が保有するサーバ等機器が稼働している電子計算機室の維持管理 ・電子計算機室改修及び空調設備更新工事	RPAの活用[令和2年度] ・取組内容 新たなソフトウェア技術の導入により、パソコンで行っている定型業務を自動化、生産性の向上につなげる。 ・時間削減効果 処理時間(40業務合計):約6,500時間 →約2,400時間 [△4,100時間(△63%)]
	②情報セキュリティの確保 情報セキュリティポリシーに基づき、高度なセキュリティ環境を実現 ・情報セキュリティ体制強化(アドバイザー設置) ・コンピュータウイルス対策ソフト更新 ・情報システム関連機器の維持管理	
	③行政情報化の積極的な推進 ICTを活用した“しごと改革”に向けたスマート自治体の推進 ・次世代業務環境の構築に向けた調査業務を実施 (業務プロセス見直し案・ネットワーク構成仕様書案及び機器整備等工程表案作成) ・RPAの活用推進 ▶適用業務数(累計):40業務	
	④自治体情報セキュリティクラウドによるセキュリティ対策の強化 県・市町村が協力して高度なセキュリティ対策としてのセキュリティクラウドを構築・運用	

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	・情報セキュリティインシデントの未然防止のため、職員の意識の維持向上を図る必要がある。 ・ICTを活用した“しごと改革”を一層推進し、業務生産性向上を図る必要がある。 ”	・職員研修の充実(e-ラーニングなど) ・ICT利用環境の整備(モバイルパソコン、通信環境など) ・RPA活用の促進(デジタルインフラ整備室によるシナリオ作成などRPA利用職員へのサポート強化)

事業番号 02 02 02 細事業一覧（令和2年度実施事業分） □当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業名	情報システム推進事業費	部局	企画振興部	課・室	デジタルインフラ整備室
-----	-------------	----	-------	-----	-------------

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
1	電子計算組織運営事業費		9,506 千円	149,873 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	電子計算組織運営事業	委託	電子計算機室改修及び空調設備更新工事	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
2	セキュリティ対策事業費		19,777 千円	21,313 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	セキュリティ対策事業	直接	情報セキュリティポリシーに基づく高度なセキュリティ環境を実現 ・職員向け情報セキュリティ研修等の開催 ・ファイアウォール等による不正アクセスの防止 ・ウイルス対策ソフトによるコンピュータウイルス感染の防止 ・最高情報セキュリティアドバイザーの設置（1名）	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
3	行政情報化推進事業費		102,236 千円	278,890 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	行政情報化推進事業	直接	各業務サーバを集約し、仮想化統合基盤（第2統合サーバ）を運用 また、業務の効率化によって職員の学び続ける時間を創出するためスマート自治体推進事業を実施 ・タブレット端末、モバイルパソコン、テレビ会議システム、ペーパーレス会議システム等の活用 ・RPA（ロボットによる業務の自動化）適用業務拡大 ・次世代業務環境構築に向けた調査業務を実施 ・市町村と共同化実証事業を実施	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
4	自治体情報セキュリティクラウド整備事業費		75,731 千円	78,326 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	自治体情報セキュリティクラウド整備事業	委託	情報セキュリティの抜本的な対策を講じるため、県及び市町村が協同して長野県自治体情報セキュリティクラウドの運用保守を行い、高度な監視を実施	